

【六戸町】 1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

六戸町では「ふるさと六戸町に愛着と誇りを持ち、新しい時代を主体的に切り開く人材の育成」という教育理念のもと、主体的・対話的で深い学びを実現することを目指している。この実現のために教員が探究型授業の日常化に努めると同時に、児童生徒が1人1台端末等を効果的に活用し、「教わる」から「学ぶ」へ学習の質的転換を図っているところである。

児童生徒の夢や志を実現するために、1人1台端末を活用することで、個々の興味や関心に応じて、多様な他者と協働して学びに向かい、豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を主体的に切り拓き、社会の形成に参画するための資質・能力を身に付けることに取り組んでいる。

2 GIGA 第1期の総括

六戸町では、令和3年度に1人1台端末の整備、運用を開始した。Wifiモデルの端末を採用するとともに、必要に応じてモバイルルータを貸し出し、家庭の状況に左右されずに、全ての児童生徒が端末を活用した学習に取り組むことができる環境を構築・整備した。

また、校内の通信回線状況を再評価し、どの教室で一斉に使用しても安定したトラフィックを維持できるように機器の更新を含めた設備改修を行った。

設備面の充実に加え、AI型デジタルドリルや授業支援ソフトウェアについても積極的に導入してきた。児童生徒の学びにおける全体指導や個別指導の場面で、各デジタルコンテンツや端末の特性を生かし、個別最適な学びと協働的な学びの推進に努めた。

3 1人1台端末の活用方策

令和3年度に整備した端末は導入から4年が経過しようとしている。端末の操作性等について、大きな問題は生じていないものの、経年劣化は否めない状況である。今後も安定的に継続して ICT 端末を活用し、児童生徒に情報活用能力をはじめとする資質・能力を身に付けさせる環境を維持するため、令和8年度に予備機を合わせて991台の端末更新を行う。

令和7年度に予定している義務教育学校の開校に合わせて、86インチデジタル黒板を全ての普通教室とほとんどすべての特別支援教室に整備するとともに、3台の移動式デジタル黒板を整備している。デジタル黒板は書画カメラやサーバーへのアクセス機能を備えており、従来の学習指導で使用されていた機能に加え、どの教室においても同じデータにアクセスできる環境を整えており、児童生徒の知的欲求に、即座に応えることができるようになっている。

学習指導においても探究型授業のより一層の充実のために、「学習内容の明確化」、「自己思考・自己解決の場の設定」、「グループ・全体での多様な学びの場面」、「まとめと振り返りの充実」という学習過程における具体的な活用方法について、学校と教育委員会が連携し、実践的な研究を通して学校教育の質的向上を図っていく。

また、生徒指導においても、様々な困難を抱える児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対しても、「不登校児童生徒の授業への参加・視聴機会の提供」、「希望する児童生徒への教育相談の実施」、「外国人児童生徒に対する学習活動支援」、「障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じた支援」など、多様な場面で活用し、全ての児童生徒の学びを支えるツールの一つとして活用していく。